

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地方政治論 (53 期～)	川上 哲	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>本講義では日本の地方自治制度の仕組みや理論を中心に解説を行っていく。2000 年以降、地方自治制度は大きく変容してきており、地方分権改革、市町村合併、圏域行政の推進など、地方自治制度がどのように変わりつつあるのか、その方向性も含めて授業を進めていく。</p> <p>本講義の目的は受講生が地方自治制度に対する理解を深め、住民自治の担い手としての基礎的な素養を身に付けることである。また公務員を目指す学生が地方自治に関する基本的な知識を習得することも目的とする。</p>						
到達目標	<p>①地方自治に関する基礎的な知識を習得する。</p> <p>②地方自治が住民サービスと密接に関わることを理解する。</p> <p>③地方自治を巡る今日的な課題と問題点について理解を深める。</p>						
回	学習内容						
1	導入 (ガイダンス) - 講義概要及び評価方法について						
2	地方自治体の首長						
3	地方議会論						
4	地方公務員論						
5	大都市行政論						
6	地方税財政制度						
7	東京都制論—都区制度と都区財政調整制度						
8	地方分権改革①—機関委任事務と自治事務						
9	地方分権改革②—三位一体の改革と市町村合併						
10	地方自治と格差・貧困						
11	地方自治と子育て支援						
12	地方自治と学校教育						
13	地方自治の今日的課題①—人口減少と東京一極集中						
14	地方自治の今日的課題②—地方制度改革と地域活性化						
15	地方自治の今日的課題③—デジタル改革						
予習内容 復習内容	<p>初回までに高等学校レベルの政治・経済の内容を復習しておく。</p> <p>2 回目以降の予習・復習は講義内で指示する。</p>						
教科書	教科書は使用せず、レジメと資料を配布する。必要に応じて参考文献を紹介する。						
成績評価	毎回の講義時に提出するコメントシート：30%、レポート：70%で評価する。						
実務経験							
その他 特記事項	<p>受講生の理解度に応じて内容や順番を見直すこともあり得る。</p> <p>正当な理由のない遅刻は出席扱いとしない。また 1/3 を超えて欠席した場合は単位認定しない。</p>						